CD 02 135〜137

孔雀【くじゃく】

孔雀は悪食(毒虫など)にもかかわらず美しい姿をもつため孔雀明王(みょうおう)として崇める。そうした信仰の対象ともなると文様化する意味が生まれます。そして、意匠化によって広く浸透していくことになります。

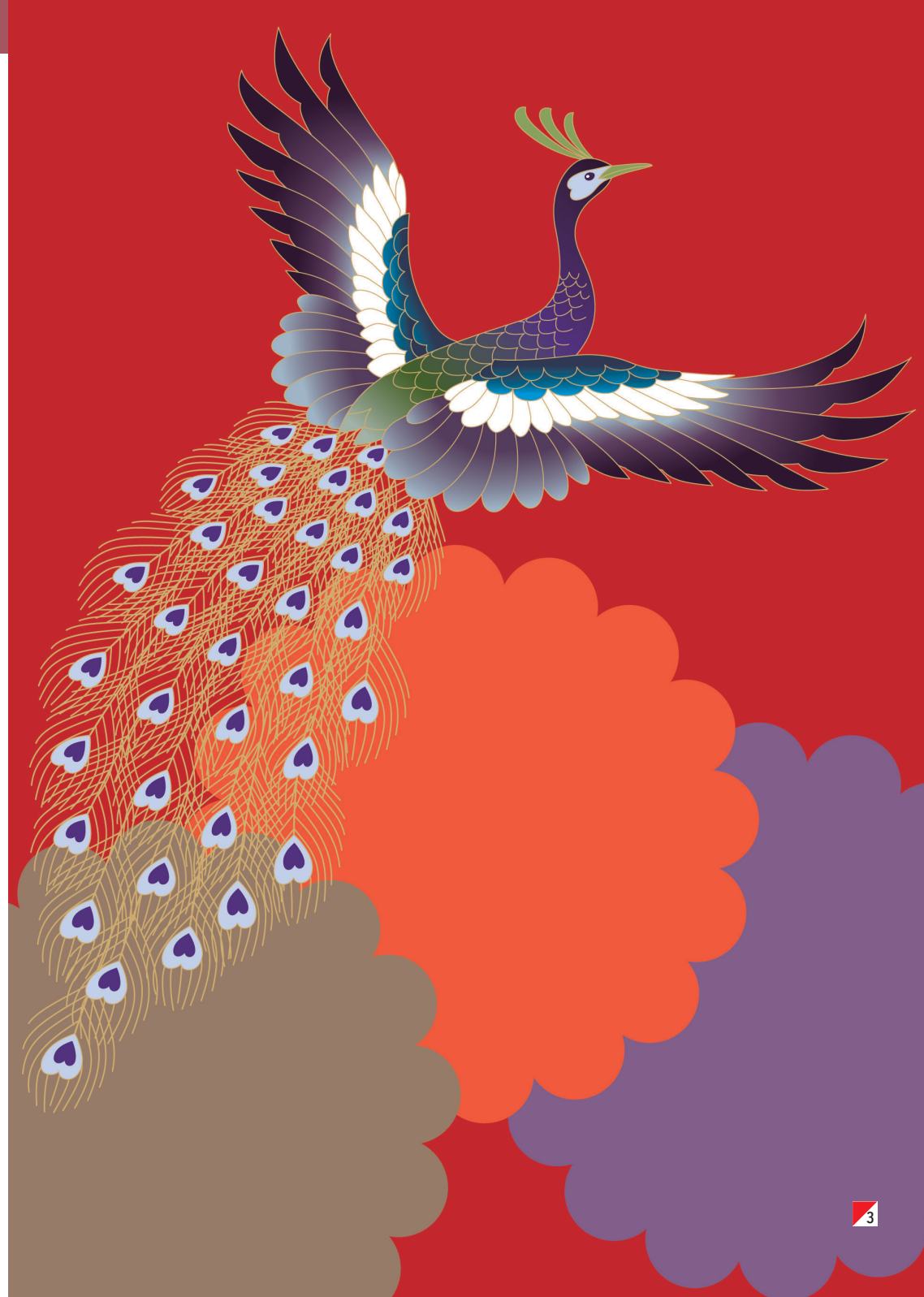
1 磁器の孔雀文 CD 02_135
食べ物を盛る器としては少し躊躇しそうな写実的孔雀です。しかし忠実なデッサンです。

2 磁器の孔雀文 CD 02_136
現代的で洗練され上品な文様となっています。

3 友禅古布の孔雀文 CD 02_137
写実的で正統的な、文句なく美しい孔雀文です。花も多く描かれていますが省略してあります。

1

2


3